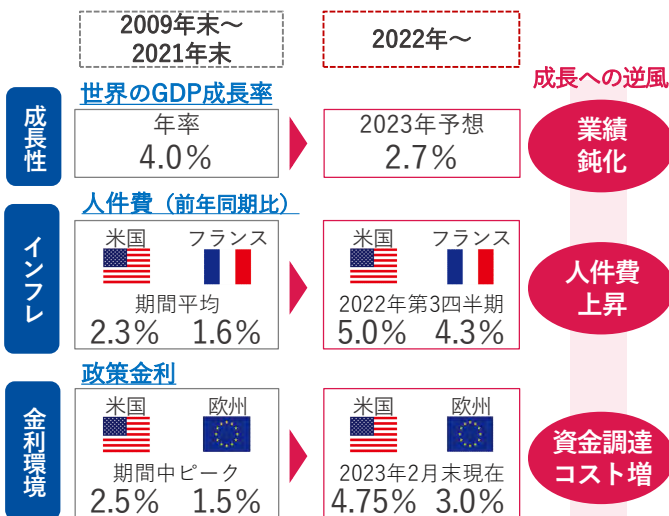


クオリティに焦点を 成長株を中心とした追い風から、「厳選」が求められる投資環境に

日興レジェンド・イーグル・ファンド（資産成長コース）、日興レジェンド・イーグル・ファンド（円ヘッジコース）、日興レジェンド・イーグル・ファンド（毎月決算コース）の3つのコースを総称して「日興レジェンド・イーグル・ファンド」または「当ファンド」という場合があります。

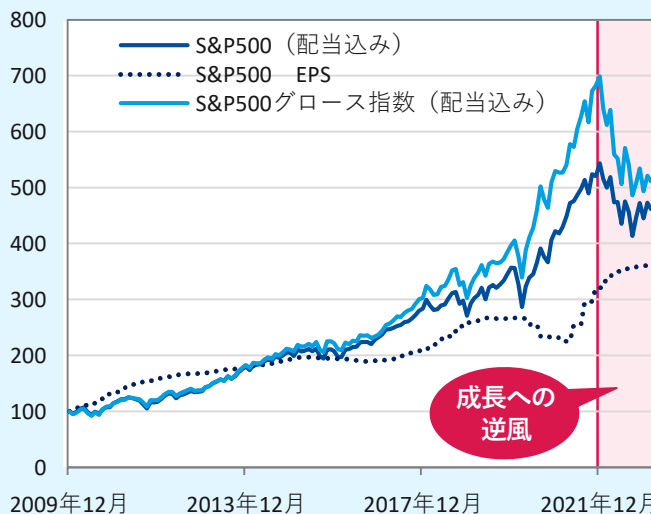
- 2008年～2009年のリーマン・ショックからの経済復興期であった2010年代から2021年までを見返すと、未曾有の金融緩和、低インフレに支えられ、株式市場のなかでも特に成長株に追い風となってきました。
- 2022年以降は「成長性（経済成長や企業業績）の鈍化」「インフレ（資源価格や賃金上昇）の高止まり」「金融引締め」と、企業にとって業績を上げ続けることが難しい環境に変貌し、世界株式をけん引してきた米国株にも影響が見られています。「グロースカバリュウカ」という単純な指標でなく、クオリティに焦点をあてて魅力的な銘柄を厳選する必要性が高まっているといえます。

ファンダメンタルズの変化



米国株式のパフォーマンスとEPS（米ドルベース）

(2009年12月末～2023年2月末、月次。2009年12月末=100として指数化)



出所：IMF「世界経済見通し2022年10月版」およびブルームバーグのデータを基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。
上記表・グラフ内に記載のない指標や指数の名称およびその権利についてはP6をご参照ください。

高クオリティ重視の 独自のバリュウ投資を貫く **日興レジェンド・イーグル・ファンド**

当ファンドは、**業界で圧倒的な地位を誇る企業に対し、十分に割安と考える水準でのみ投資します。**例えば、シャンパンは構造的に供給が限られた希少性の高い実物資産と考え、世界最大級のシャンパン生産者であるモエ&シャンドンへ、LVMHモエヘネシールイヴィトンを通じて投資しています。

高クオリティの例：シャンパン

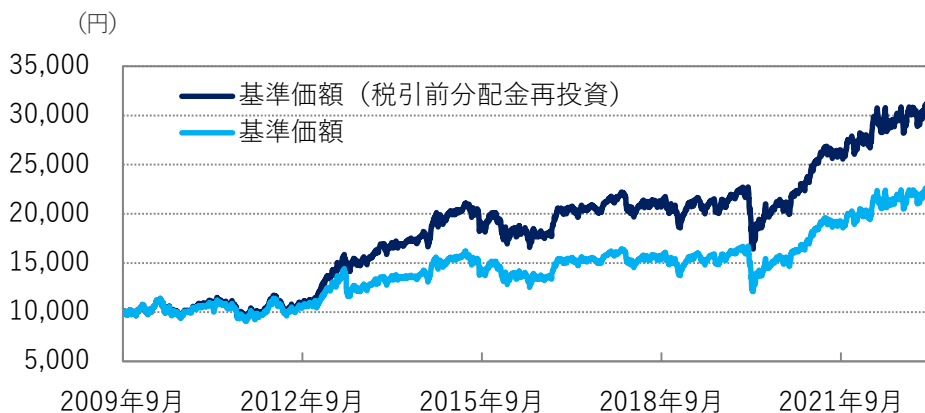
- 「シャンパン」は、仏シャンパーニュ地方で商標登録されており、厳しく定められた製法のもと作られるスパークリングワインのみ名乗ることが許される
- シャンパーニュ地方のブドウ栽培の境界は1927年に法で定められており、およそ34,000ヘクタール（シンガポールの国土の半分、世界のブドウ畑の0.5%）のみ
- 過去30年間、シャンパンのブドウ畑の価格は、世界で最も好調な不動産市場の一つであるシンガポールの不動産よりも速く上昇



出所：ファースト・イーグル・インベストメンツのコメントおよび各種報道より、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。写真はイメージです。
上記は、あくまでも理解を深めていただくために例示したものであり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また将来のファンドへの実質的な組入を保証するものではありません。資金動向・市況動向の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

日興レジェンド・イーグル・ファンド 設定来の運用実績

資産成長コース (2009年9月11日(設定日)～2023年3月15日、日次)

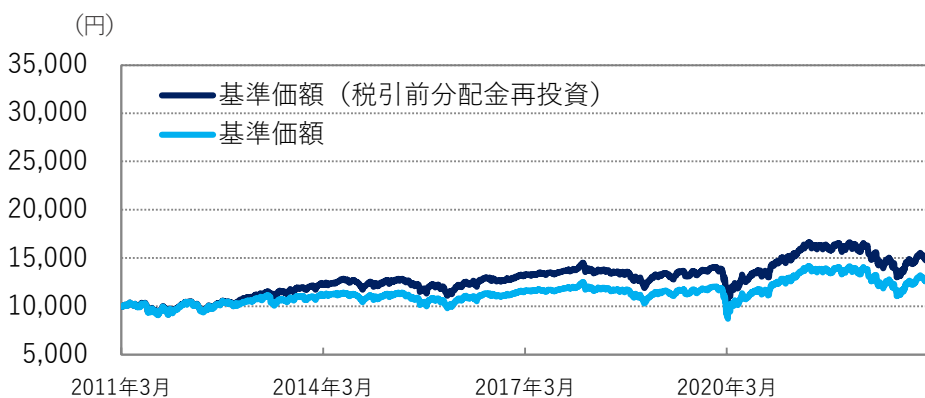


2023年3月15日現在

基準価額 (税引前分配金再投資)
30,226円

基準価額
21,975円

円ヘッジコース (2011年3月18日(設定日)～2023年3月15日、日次)

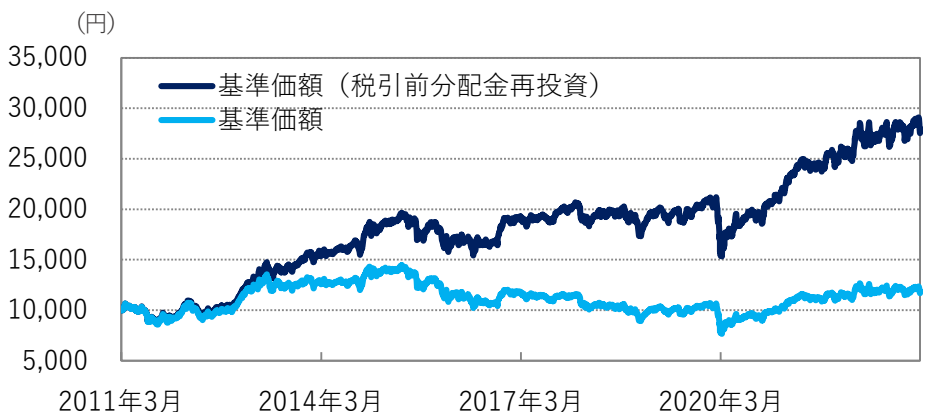


2023年3月15日現在

基準価額 (税引前分配金再投資)
14,648円

基準価額
12,458円

毎月決算コース (2011年3月18日(設定日)～2023年3月15日、日次)



2023年3月15日現在

基準価額 (税引前分配金再投資)
27,977円

基準価額
11,875円

基準価額は信託報酬控除後、一万口当たりの値です。

基準価額 (税引前分配金再投資) は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて中長期的な投資信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。

ファンドの特色

- 1 長期にわたり優れた運用実績がある「ファースト・イーグル・グローバル・ファンド」と同じ運用手法の「ファースト・イーグル・グローバル・バリュエーション・マスター・ファンド(以下、マスター・ファンド)」へ、主に投資します。
 - 主としてケイマン籍の外国投資信託「マスター・ファンド」の受益証券とルクセンブルク籍の外国投資法人「Amundi Funds キャッシュ・USD」の投資証券に投資します(以下両ファンドを総称してまたは個別に「サブファンド」という場合があります。また受益証券および投資証券を総称して、以下「投資信託証券」といいます。)。世界の株式等への実質的な投資は「マスター・ファンド」を通じて行います。
 - 「マスター・ファンド」の運用は、米国の運用会社ファースト イーグル インベストメント マネジメント社(以下「ファースト・イーグル・インベストメンツ」といいます。))のグローバル・バリュエーション・チームが行います。また、「Amundi Funds キャッシュ・USD」の運用はアムンディ・アセットマネジメントが行います。
- 2 主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、ドルベース^{*}で相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで投資信託財産の長期的な成長を目指します。
 - 世界各国(エマージング地域にも投資することがあります。))の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、フリーキャッシュフロー等、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。
 - 分析の結果、十分に割安で魅力的であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。
 - ファンドは、特定の株価指数にとらわれない運用を行うため、ベンチマークを設定しておりません。
 - 「マスター・ファンド」において、ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、ドル以外の他通貨売り/ドル買いの為替取引(ドルベースでの為替ヘッジ)を行うことがあります。

※当資料では、「ドル」とは米ドルのことを指します。
- 3 「資産成長コース」、「円ヘッジコース」、「毎月決算コース」それぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。
 - スwitchingの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。

◆資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。◆

投資リスク

各ファンドは、投資対象サブファンドへの投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

当資料のお取扱いについてのご注意

- ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ・投資信託は、値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。投資信託の基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・当資料に記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- ・投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。
- ・当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ・お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

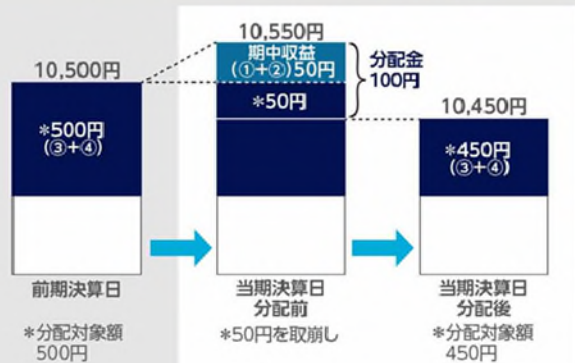
【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



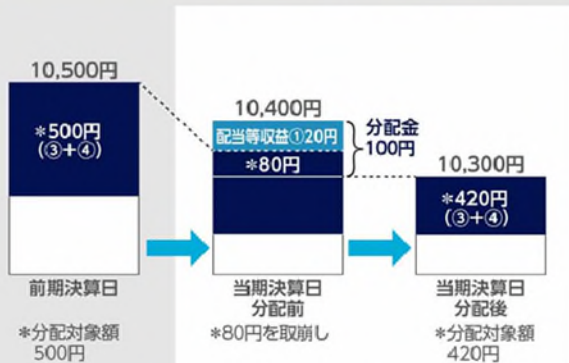
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

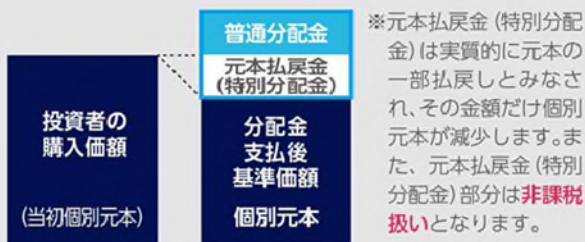


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

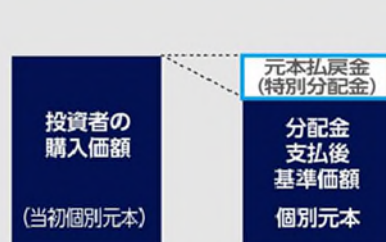
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みメモ

	資産成長コース	円ヘッジコース	毎月決算コース
購入単位	(新規申込)20万円以上1円単位 (追加申込)1万円以上1円単位 (投信自動積立)1万円以上1千円単位		
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
換金単位	1円以上1円単位		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。		
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して、6営業日目からお支払いします。		
購入換金申込受付不可日	ニューヨークもしくはケイマンの銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休場日の場合はスイッチングを含め、受け付けません。		
申込締切時間	三井住友銀行においては、原則として毎営業日の午後3時まで、お申込・ご換金の手続きが完了したものを当日受付分とします。		
換金制限	換金の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。		
信託期間	原則として、無期限とします。 (設定日:2009年9月11日)	原則として、無期限とします。 (設定日:2011年3月18日)	
決算日	年2回決算、原則毎年6月、12月の各5日*です。 *当該日が日本の休業日の場合は翌営業日とします。		年12回決算、原則毎月5日*です。
収益分配	原則として年2回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 収益分配金は税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。		原則として年12回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。
信託金の限度額	各コース1兆円です。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。		
スイッチング	資産成長コース、円ヘッジコースおよび毎月決算コースそれぞれの間で無手数料でスイッチングが可能です。スイッチングの際には、換金時と同様に税金がかかりますのでご注意ください。詳しくは三井住友銀行にお問い合わせください。		

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

株式会社三井住友銀行における購入時手数料率は、お申込み金額*に応じて、以下のように変わります。

お申込み金額	手数料率
1億円未満	3.3%(税抜3.0%)
1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.5%)
5億円以上10億円未満	0.825%(税抜0.75%)
10億円以上	0.55%(税抜0.5%)

※お申込み金額=(購入価額×購入口数)+購入時手数料(税込)

【ご注意ください】例えば、お申込み金額1,000万円でご購入いただく場合、指定金額(お支払いいただくお申込み金額)の1,000万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、1,000万円全額が当該投資信託のご購入代金となるものではありません。

信託財産留保額	ありません。
換金時手数料	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	各コースの純資産総額に対し 年率1.232%(税抜1.120%) をそれぞれ乗じて得た金額とします。各コースが投資する外国籍(ケイマン籍およびルクセンブルク籍)ファンドの有価証券届出書作成日現在の運用報酬の上限額は、各外国籍ファンドの運用資産の純資産総額に対し、それぞれ年率0.8%および0.1%を乗じて得た金額となります。したがって、当該運用報酬を考慮した場合の 各コースの実質的な負担の上限は、年率2.032%(=1.232%+0.8%) となります。ただし、「ファースト・イーグル・グローバル・バリュース・マスター・ファンド」の運用報酬の最低金額は25万ドルとなっているため、純資産総額によっては年率2.032%を上回ることがあります。実際の信託報酬の合計額はサブファンドの組入状況、運用状況によって変動します。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税等 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

委託会社、 その他の関係法人	委託会社：アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第350号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会	お問い合わせ先	アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン：050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス：https://www.amundi.co.jp/
	受託会社：野村信託銀行株式会社 販売会社：株式会社三井住友銀行 他		



株式会社三井住友銀行

登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資信託に関する留意点

■投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行本店等にご用意しています。■投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。■投資信託は預金ではありません。■投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。■三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

「ファースト イーグル ファンドシリーズ」特設サイト、アムンディの「着レポ」のご案内

アムンディ・ジャパン株式会社の
「ファースト イーグル ファンドシリーズ」
特設サイトもご覧ください！




スマホをかざして
今すぐアクセス！

タイムリーにメールが届く新サービス！アムンディの「着レポ」
「日興レジェンド・イーグル・ファンド」の情報がタイムリーに受け取れます。
是非ご登録ください！

タイムリーにメールをお届けします！
アムンディの「着レポ」

- 分配金のお知らせ
- 相場変動時の臨時レポート
- ファンドの運用報告や見通し

ご登録



個人情報の取扱いについては、ご登録画面にてご確認ください。

【当資料で使用した指標、指数について】

<人件費> 米国：米国労働統計局 雇用コスト指数（四半期毎）、フランス：ユーロスタット フランス人件費名目値（四半期毎）
<政策金利> 米国：FF金利（誘導目標）、欧州：1週間レポ金利

【当資料で使用した指数の権利について】

- S&Pの各インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCの登録商標です。
- 当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。